



- ・ふるさとに愛着をもち、多様な他者と進んで関わる子ども
- ・心身ともに健康で、しなやかさとたくましさのある子ども
- ・自ら判断し、生き生きと表現する子ども

再始動しました

4月9日の入学式で23名の新1年生を迎えました。式は、新型コロナウイルス感染症対策のため、全校児童で迎えることができず、6年生が代表して歓迎の言葉と歌のプレゼントをしました。



入学式の翌日からは、毎朝、6年生が当番で1年生教室を訪れ、1年生の朝の準備を見守ったり、クイズやじゃんけんゲーム、紙芝居、読み語りなどをして楽しませたりしてくれていました。



1年生と6年生だけでなく、2年生から5年生の子どもたちも、張り切って新しい学年の生活を始めていました。そのような順調な滑り出しをした矢先に、臨時休業となっていました。

ゴールデンウィーク明けの5月7日に、半日だけ臨時登校日がありました。その折に、全校児童を対象に、休業中の気持ちについてアンケート調査を行いました。休業中の満足度を問うと、上学年で満足度40%

以下と答えた子どもたちがいました。その理由は次のようなものでした。友達に会えない寂しさや再開後の学校生活への不安を感じながら家で過ごしていたことが分かります。

- ・友達と会えない。
- ・人に会いたい。
- ・つまらない。ひま。
- ・勉強をあまりやっていないから。
- ・勉強についていけないか心配。
- ・修学旅行があるか心配。
- ・家の手伝いをして疲れた。

学校が再開した5月18日には、元気いっぱいに登校する子どもたちの姿がありました。1年生教室には、休業前と同様に数人の6年生の姿があり、折り紙を配って、カエルの折り方を優しく教えていました。ようやく戻ってきた日常が、このまま続くことを願っています。

再開後の斐伊小学校では、これまで以上に感染症対策に気を配りながら計画的に教育活動を進めて参ります。しかし、既にお知らせしているとおり、学校内外の様々な行事が中止や延期になっています。状況によっては、今後、さらなる変更があるかもしれません。保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いします。

6月の主な行事予定

- 2 (火) いもの苗植え〔1、2年生〕
- 3 (水) 尿検査
- 9 (火) 計算会
- 12 (金) スクールカウンセラー来校
- 23 (火) 書取会

感染症対策について

学校が再開したことはうれしいことですが、感染症対策をしながら教育活動を進めることは容易なことではありません。そもそも、子どもの特性上、密着しやすいものです。触れ合うことが発達・成長を促すという側面もあります。校内では基本的にはマスクを着けて過ごしますが、これからの時期は、熱中症の心配もあります。大きな声で歌ったり、楽器を演奏したり、調理活動をしたりするなど、飛沫が飛びやすい学習は、当面の間、実施を見合わせなくてははいけません。いろいろと制約がありますが、工夫しながら前進するしかありません。

現在、斐伊小で行っている感染症対策を紹介します。

- ① 登校時の手指消毒と健康観察表確認
- ② 窓及び教室と廊下との境の扉を開放することによる換気
- ③ 1 mずつ離れて着席
- ④ 全員マスク着用
- ⑤ 休み時間ごとの手洗い
- ⑥ 部屋を分けた給食
- ⑦ 同じ方向を向いて給食&歯磨き



【1、2年生はランチルームで】

⑧ オープンスペースを利用した給食



⑨ 歯磨き後のうがいは、間を空けて



【順番待ちも間を空けて】

⑩ 共用部分の消毒

日本は、諸外国に比べると検査体制が十分でないため、一部の人しか検査を受けることができません。ですから、本当に自分が健康体と言えるのか、実は感染歴があっても抗体保有者なのか、感染しているけれど無症状なのか、だれにも分かりません。そのような状況下での学校再開ですから、子どもたちを守るため、その時その時のベストを目指して感染症対策に取り組んでいきます。

最近、東京や大阪など大都市においても感染者の報告数が少なくなっています。これは、ゴールデンウィークに全国で外出自粛に取り組んだ成果だと言われています。不便ではありますが、「新しい生活様式」に少しずつ慣れていく必要があります。